

留 学 報 告 書

記入日:2018年5月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部 経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University, Fullerton
留学期間	2017年08月～2018年05月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年05月17日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月中旬～12月上旬 2 学期:1月下旬～5月中旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	40,235
創立年	1957

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	円	備考
授業料	\$5,622	615,025 円	施設使用料等含む
宿舍費	\$14,988	1,639,629 円	ほぼ毎日使用できる学食の費用含む
食費	\$4,000	437,584 円	学食をほぼ使っていなかったため自炊
図書費	\$500	54,698 円	Amazon Rental が安い
学用品費	\$50	5,470 円	筆記具等
教養娯楽費	\$1,000	109,396 円	PC 代金
被服費	\$4,000	437,584 円	平均は\$500-1000 くらいだと思う
医療費	\$0	0 円	保険が効くのでほぼ費用はかからない
保険費	\$700	76,577 円	形態: 明治とは別に現地の大学で必須の保険
渡航旅費	\$4,000	437,584 円	長期休みに日本へ帰国しているため
雑費		円	
その他	\$2,500	273,490 円	2 回のキャリアフォーラムへの参加費用
その他	\$5,000	546,981 円	長期休みでの旅行費用
その他		円	
合計	\$42,360	4,634,019 円	1ドル 109 円

渡航関連

渡航経路:HND-LAX

渡航費用

チケットの種類	エコノミー・プレミアムエコノミー
往路	約 100,000 円
復路	約 100,000 円
合計	200,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Skyscanner

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学の公式サイトから申し込み

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

シングルルームの寮自体はかなり綺麗。冷蔵庫、電子レンジ、オープン、食洗機など完備で便利。
ダブルルームはかなり古い建物。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生の窓口は基本的に College Park という部署を通して行われる。基本的に自分のことは自分で解決するというスタンス。この窓口は、手続きなどに関してわからないことを質問していくためのもので、問題解決をサポートするところではない。寮関係の問題であれば、Housing Office が親身にサポートしてくれる。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特にない。一度、極左の活動家が演説に来ていたが大学からメールがきて自宅待機するように促された。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内全域で Wifi 使用可能。外出時ように、H2O の SIM カードを契約していた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほとんど日本から持って来たクレジットカード払い。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ない。Amazon も使えるのでほぼ全てのものを買うことができる。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に海外送金にて授業料を支払い。現地にて寮費をクレジットで支払った。後期は、現地で両方もクレジットカード払い。

卒業後の進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
ポストキャリアフォーラム、ロンドンキャリアフォーラム、サポーターズ、逆求人ナビ、マイナビ	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
SAP ジャパン、日本 IBM、ソフトバンク、MISUMI、ヤフージャパン、カカクコム、サイバーエージェント、ソースネクスト	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
3 年生で留学するのであれば、ポストキャリアフォーラム・ロンドンキャリアフォーラムに参加することを強くオススメする。事前準備を怠らず、自分のやりたいことを絞り切れて入れば、3 年生秋時点でも十分に内定をもらえる可能性がある。基本的には最低1年間以上(2学期)留学にいく人が来ている印象が多いが、人によっては半期でも戦えると思う。	
ボスキャリア・ロンキャリア共に学生が一番忙しい中間時期にかぶってくるので、留学前からある程度企業分析と自己分析を終えている状態がベスト。内定を狙うなら、イベントページから志望の企業に最低でも1ヶ月前までに事前応募するといい。キャリアフォーラム開催期間は3日間だけだが内定は出る。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 24 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Advertising	広告論
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	Fall 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Kuen-Hee Ju-Pak
授業内容	最初にマーケティングの基礎から始まり、後半に広告・プロモーション全般を体系的に学ぶ。
試験・課題など	試験は 3 回。毎週、簡単なクイズがある。試験問題の半分は、毎週のクイズからそのまま同じ問題が出る。もう半分は、教科書から出る。課題はグループ課題があるが、標準的なレベル。
感想を自由記入	マーケティングの基礎レベルの話から始まるので、知ってる人には最初は退屈かもしれない。広告・プロモーションに関する部分に関してきちんと体系的に勉強したい人にはオススメ。難易度はかなりイージー。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Professional and Career Development	キャリアマネジメント
科目設置学部・研究科	BUAD
履修期間	Fall 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Laura Curran
授業内容	セルフアセスメント・チームビルディング・デリヴァティブ能力三つを養うことを目的としている。その上で、自分の将来のキャリアをどう決めていけばいいのか、そのために何をすればいいのかを学んでいく。なので、自己分析的な作業をすることが多い。
試験・課題など	試験はない。代わりにエッセイ x3、プレゼン x3、リーディング課題 x2 がある。正直、分量としてはかなり多く、相当効率よく取り組まないと終わらない。課題量は教授によって違う。
感想を自由記入	ためになる授業であった。教授がMBAホルダーで話し方・伝え方がすごくまい。受講する生徒も真面目な人が多く、インターナショナルも多かったため、自分とは異なる価値観や文化を学びたい人には最適だと思う。ハードな授業だが良い学びになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Coding for Artists	Python コーディング基礎
科目設置学部・研究科	CPSC
履修期間	Fall 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Kevin Wortman
授業内容	Python で画像処理を行ったり、グラフィックツールを動かし、3D アニメーションや 3D オブジェクトを作成したりする。前半は、Python の基礎文法を一通り学び、使い方を覚える。クラスを使ってコーディングできるようになったら、画像処理・アニメーション作成に移る。
試験・課題など	実技コーディング試験が 3 回。加えて、毎週のコーディング課題と最終成果物を期末に提出。コーディング系の授業全般に言えることだが、コードが書ければ全く勉強しなくてもいい成績が取れる。
感想を自由記入	教授が非常にスマートな人で、授業がとてもわかりやすかった。ステップバイステップで課題を出してくれるので、きちんと授業を聞いていれば初心者でも最後まで理解できると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Programming	プログラミング基礎
科目設置学部・研究科	CPSC
履修期間	Fall 2017
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が 1 回
担当教授	Gina Ackerman
授業内容	C++を使って、ループ、配列、関数の使い方から始まり、オブジェクト指向まで学んだ後、アルゴリズムについても学ぶ。プログラミングの基礎を全般的に教えてくれる授業。
試験・課題など	テスト2回、毎週のコーディング課題、グループプロジェクト 3 回。テストは基本的に毎週の課題ができていればできる。グループプロジェクトは、ペアを組んで行うのが難易度はかなり難しい。
感想を自由記入	非常に勉強になった。コンピューターサイエンスを学びたいなら始めはこの授業だろうといった印象。ただ、教授にもよるがこの人の授業の難易度は難しめ。少なくとも100番代のレベルではない。深さ優先探索のアルゴリズムをゼロから組ませるような課題もあったので、言語の操作はもちろん、理論的な部分も理解できないと厳しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Understanding Business		ビジネス基礎	
科目設置学部・研究科	BUAD		
履修期間	Spring 2018		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Zack Dafaallah		
授業内容	ビジネス概論。グローバルビジネス、スモールビジネス、マネジメント、マーケティング、アカウントティングなど浅く広く全般的に学ぶ。		
試験・課題など	試験 3 回、グループ課題 3 つ、個人課題 3 つ。試験には事前に試験に出る問題と同じ問題が載っているスタディガイドが配られるので、それをやっておけば問題ない。グループ課題も、個人課題も特に難しいものでもない。		
感想を自由記入	ビジネスに関するの知識を広く体系化させて覚えておきたい人にはおすすめ。各領域が浅く、次々と新しい話が出てくるので、じっくり何か特定の分野を勉強したいと思う人には向いてない。難易度はかなりイージー。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Family Business Dynamics		親族経営ビジネス	
科目設置学部・研究科	MGMT		
履修期間	Spring 2018		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式+フィールドワーク(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 165 分が 1 回		
担当教授	Dr. Tam Nguyen		
授業内容	親族経営についての問題点・効率的な経営手法について学ぶ。親族経営専門のコンサルタントの人が毎週授業にアシスタントとして参加、教授は直接教えるというより、授業のファシリテイトを行っていた。		
試験・課題など	試験なし。多めのグループ課題が 2 回、グループプレゼンテーション 1 回、個人プレゼンテーション 1 回。		
感想を自由記入	とにかく参加学生の意識が非常に高い。内容的にも親族経営に携わっており、事業を継ぐことが決まっている 2 世代目・3 世代目の人が参加しているため、将来何をやるのか決めた上で授業に参加している人ばかり。講義主体の授業ではないので、他の学生に刺激を受けることが多かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Marketing		グローバルマーケティング	
科目設置学部・研究科	MKTG		
履修期間	Spring 2018		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Olga Di Franco		
授業内容	グローバルマーケティングにかなりついて深くまで学ぶ。例えば、ある国に米国企業が進出するためには、どのような障壁があり、現地でどのような戦略をとって、どのようにモノを売るべきなのかを考えたりする。その各ステップにおいて、必要な知識をこの授業でほとんどすべて知ることができる。		
試験・課題など	試験 2 回、グループ課題 3 つ、個人プレゼンテーション 1 回、グループプレゼンテーション 2 回。分量は多い。試験範囲も非常に広く、教科書の細部まで覚えないと点数は取りにくい。難易度は難しめだと思う。グループ課題に関しては、出されたお題の方向性・方針を間違えなければきちんと評価を得られる。		
感想を自由記入	この留学で最も為になった授業だった。授業履修者のバックグラウンドがバラバラで、各人の価値観が違うのでディスカッションが面白かった。何より、グローバルマーケティングに必要なアカデミックな知識がすべて詰め込まれているので、本当にためになる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Information Technology for Managers	情報マネジメント
科目設置学部・研究科	ISDS
履修期間	Spring 2018
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+実習(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Laura Marcoulides
授業内容	FORMTEXT 組織のマネージャーに必要な IT 知識(ソフトウェア・テクノロジー)に関することを学ぶ。例えば、経営効率化のためのソフトウェア(ERP, CRM, SCM 等)はどのようなものか、クラウドについて(SaaS, IaaS, PaaS 等)、IT 導入の際のリスクアセスメント・導入手法についてなど。
試験・課題など	試験 3 回、グループ課題 1 回、個人課題複数。テストは教科書を読んでもらえる。グループ課題は、最後の Microsoft Project を使って行うが分量が少し多い。
感想を自由記入	IT について学びたいならこの授業は非常にオススメ。世間一般で言葉だけで回っているビッグデータとか AI とかではなく、ビジネスの場において実際に使われている IT の基礎からその使い方まで学ぶことができる。IT 業界に興味を持っている人なら取っておくと、きちんと専門的に会話できるようになると思う。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL の勉強
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	エッセイの書き方・英会話
4月～7月	ビザ申請・寮・授業申請などの手続き
8月～9月	授業開始・授業の申請
10月～12月	試験勉強・就活準備・ポストンキャリアフォーラム
2018年 1月～3月	冬休み後、授業開始・就活準備
4月～7月	試験勉強・ロンドンキャリアフォーラム
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	経営学部の英語特別クラス、GREAT に入ったことが留学を目指すきっかけになりました。周囲の人たちの海外に対する意識は高く、それに影響されたということも一因です。加えて、自分の性格的に未知の環境に飛び込んでいきたいという気持ちが強く、留学はそれに最適だったということがあげられます。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	特にありませんでした。強いていうなら発音の矯正に持つて力を入れるべきだったと思います。留学に行く前のリスニング・ライティング・リーディングなどの英語力については高いに越したことはありませんが、スピーキングに関しては現地に行ってからでも十分に学ぶことができる上、そちらの方が効率はいいかとおもいます。ライティングに関しては、APA スタイルのペーパーの書き方は一通り学んでいった方がいいかもしれません。
この留学先を選んだ理由	California State University Fullerton へ留学した理由は主に二つです。一つは、IT を使った効率的な管理業務(前述した ISDS)と実際のプログラミング(コンピューターサイエンスの基礎)を学ぶため。もう一つは、人種のるつぼであるロサンゼルスへ行き、そこに住む人達から”自分にはない考え方・価値観”を吸収するためです。
大学・学生の雰囲気	西海岸ということもあって、学生含めた人の雰囲気が穏やかでフレンドリーです。東海岸と比較しても、やはりあの人当たりの良さはカリフォルニアの地域性からくるものだと思います。大学の雰囲気は、いわゆるマンモス校といった感じです。沢山の学部が用意されていて、多種多様なバックグラウンドをもった人が集まっていました。
寮の雰囲気	自分の住んでいた寮はものすごく静かでした。おそらく寮ごとに雰囲気の差があると思います。ダブルルームの寮は連日パーティーが行われていました。
交友関係	友達を作るきっかけになる出来事は主に三つ。授業のグループ課題、クラブ活動、寮生活。個人的に、一番友達ができやすいのはグループ課題かなと思います。真面目にやれば、一緒に過ごす時間は長いので自然と仲良くなります。クラブ活動は、自分からガンガンいろんな人に話しかけていけばどんどん交友関係が広がって面白いですが、寮生活ではルームメイトと合う合わないはあると思いますが、距離が近いので仲良くなりやすいと思います。
困ったこと、大変だったこと	試験勉強とグループ課題が一番大変でした。授業のレベル的には400番代でもそこまで難しい印象は受けませんでした。とにかく全てにおいて量が多い。500-600ページ以上ある教科書を4ヶ月で終わらすカリキュラムなので、試験ごとに覚える分量はとにかく多いです。グループ課題の配点は非常に大きく、いい成績を取りたいなら、できるだけ真面目に取り組むような人とグループを組んだ方がいいです。
学習内容・勉強について	留学生は自分の専攻に関係なく授業を取ることが可能です。なので自分はビジネス、コンピューターサイエンス、情報マネジメントの授業を履修しました。例えば、コンピューターサイエンスの授業では、必ずペアワークでコーディングの課題を毎週出され、それぞれ役割分担して行います。専門性のある内容を相手にどう伝えればいいのか、ハードな課題が与えられた際にそれをどう調べて解決すればいいのか等、二人三脚で考えて、チームで取り組めたのは非常にいい経験になりました。アメリカの大学の授業のいいところは、グループワークが沢山あり、チームで何かに取り組むという経験をたくさん積めることです。留学生だからと引け目を感じず、ガンガン発言して、積極的に関わってみると得るものは大きいと思います。
課題・試験について	先にも述べたが、とにかく分量が多いです。効率的にこなすための自分なりのやり方を作れるかどうかポイントだと思います。

<p>大学外の活動について</p>	<p>ロサンゼルスは場所柄、観光する場所がたくさんあります。時間があれば、ローカルの友達を作って、仲良くなるというんなところに連れて行ってくれます。また、自分の場合は、地域の人が集まるコミュニティがあり、そこで知り合った夫婦にいろいろなレストランに連れていってもらったりしました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>自分がアドバイスできることとしては、以下の三つだけです。一つは、目的を持って留学に行くこと。二つは、自分の決めたことに関しては全力で取り組むこと。三つめは、自分の信を突き通すこと。</p> <p>一つめ、まず、留学に行く目的を明確にしたほうがいいです。勉強したいなら、具体的に何を、どのように勉強して、何がゴールなのか決めましょう。例えば、僕の場合は、コンピュータサイエンス・情報マネジメントの授業を学ぶことを決めていました。加えて、自分が勉強にどれくらい力を入れているか判断する指標として最低でも成績を8割以上はとるようにしました。自分は IT 業界のエンジニア志望だったので、将来的なゴールはそこに設定しました。</p> <p>人によって留学の目的は違うと思います。勉強じゃなくて、遊びでもいいし、恋愛でもいい。ただ、自分が何をやりたくて、どうすればそれを達成することになるのかはつきりさせると留學生活の中で充実感を持って過ごせると思います。</p> <p>二つめ、自分が決めたことにはせめて全力で取り組むと得るものが多いと思います。結局、中途半端に行動していると得るものは少ないです。例えば、僕の場合ですが、当初授業で行われるグループ課題に非常に消極的でした。留学生という立場から抜け出せず、なんとなくそこにおいて、時々手伝う、みたいな程度でした。ですが途中で考え方を換え、それに対して、臆病にならず全力で取り組んでいくと、チームの中での自分の役割、チームメンバーの考え方、メンバーの引っ張り方、それ以外にも沢山見えてきたものがあります。一例ですが、せめて最初に自分で決めた目的に関することには全力でぶつかって行ったほうがいいと思います。</p> <p>三つめは、自分の意思を突き通すことを意識したほうがいいです。当然国にもよりますが、アメリカであれば基本的に自己責任かつ個人主義的な考え方が強く、大学生ともなれば独立できていることが当たり前です。ここでいう独立しているという意味は、自分の意見を持っており、自分はこう思う、だから自分はこうやって行動するという芯の部分を持っているということです。</p> <p>少なくとも個人個人で各人が違う考え方を持っており、誰かに合わせて決断する、というよりは日本と比べて少ないと思います。そんな環境の中で、自分を信じ、意思を突き通すことができれば、ものすごく大きな経験・糧になると思います。</p> <div data-bbox="534 1189 1158 1541"> </div> <div data-bbox="534 1574 1011 1989"> </div>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中				交流	勉強	勉強	勉強
		授業		授業	勉強	外出	勉強
午後	授業	勉強	授業	勉強		外出	外出
	授業	勉強	勉強			外出	外出
夕刻	授業	授業	クラブ活動		外出	外出	外出
夜	交流	授業	クラブ活動		外出	外出	外出